

令和4年9月22日

# futbol y vida



Poco a poco ...  
boco y boco ...

10年ぶり選手権一次トーナメント突破!!  
ここからが高校サッカーの醍醐味!!

厳しいゲームを制し 10年ぶりの選手権二次トーナメントに進出!!

ここからが“K's football style”の真価(進化)が問われる闘い!!



VS



<選手権二次トーナメント進出を賭けて“絶対に負けられない闘い”がキックオフ!!>

## 選手権一次トーナメント代表決定戦 VS 東工大附属

9月18日(日)、選手権大会東京都予選一次トーナメント代表決定戦 VS 東工大附属高校が、八王子市戸吹グラウンドで行われました。この日は、台風14号が秋雨前線を刺激し早朝から強い雨が降った影響で人工芝グラウンドにも数か所大きな水溜まりができ、また、第一試合では雷の影響により20分間試合が中断するなど、先の読めない状況の中大切な決戦の時を待ちました(片倉高校は第四試合でした)。

予定より20分遅れの17:05キックオフ。既に、照明の灯がともしこちらとしてはこの照度に慣れているのでいいアドバンテージになりました。雨は上がっていたもののスリッपीなグラウンドにボールコントロール(特にファースト・バウンド)に苦勞する場面もありましたが、それ以上に相手の素早い出足によるプレスや激しいコンタクトプレーそして瞬く間に密集を作られて、いつものようにボールを動かさずに立ち上がりは相手陣地になかなか侵入ができない時間帯が続きました。しかし、前半9分に大村(3年)の右サイドの突破から中へクロスを上げると左サイドの石坂(2年)が見事なボレーシュートをゴールに突き刺し先制点を奪います。13分にはCKからパスを繋ぎペナルティエリア付近から鈴木拓(2年)が放ったミドルシュートがポストの内側に当たりゴールイン。序盤でリードを広げることができ精神的に少し楽になりました。その後も相手のハイプレスに苦しみながらもボールを保持する時間は増えていき、何度か決定的なチャンスを作ることができましたが、相手GKのファインセーブや課題のシュートの精度を欠き、追加点を奪えずに前半を2-0で終了します。

## 49期生の三年間の思いが勝利を手繰り寄せた!!

後半、相手は二枚のカードを切って反撃を伺います。こちらは精神的に優位に立っているので相手の密集した陣形の周囲にできたスペースをよく見て、長短のパスを織り交ぜながら狙いチャンスを作ります。すると、左サイドの石坂のパスから**福住(2年)**がゴールを決めると、変化を入れたFKから**亀井(3年)**のダメ押しとなる四点目で勝負を決めます。今大会を通して、途中交代出場の**小宮山、山田**、キャプテン**藤原(3年)**の**8名**の49期生の三年間の思い全てが、代表決定戦にも現れ、最後まで諦めずに攻めの姿勢を貫く東工大の反撃を抑え込み**4-0**で勝利し、10年ぶりに選手権二次トーナメント進出を決めました。

しかし、ここはあくまでも通過点であり最終到達点(ゴール)ではありません。10月からスタートする選手権二次トーナメントで、ひとつでも多く勝ち上げられるようにチームは早速翌日からトレーニングを再開しました。**“K’s football style”**の**真価(進化)**が問われるのはこの先の厳しい闘いからです。楽しみはまだ続きます。



<代表決定戦はお互い勝利を求めて球際・コンタクトの激しい闘いとなった!!>

### <After the Game>



代表決定戦当日は、台風14号の影響で天候の悪い中でも関わらず、多くの片倉サッカー応援団が戸吹グラウンドに集まって子どもたちにパワーを与え、離れていてもいつまでもスタッフの一員である**田中先生**がGKコーチとして手伝いに来てくれました。また、他会場の仕事後に駆けつけてくれた**金井コーチ**や**遠藤コーチ**、**レフリーの村越さん**など心強いスタッフがチームを支えてくれました。今回の選手権一次トーナメントでは、多くの方のご協力のおかげで結果に繋げることができました。本当に感謝です。

### <田中先生は正真正銘の片倉スタッフです>

さて、明日は10月からスタートする選手権二次トーナメントの組み合わせ抽選会が行われます。全て(運命)は、キャプテン藤原の手の中にあります。対戦相手がどのチームになるのか今からとても楽しみです。また、今回の選手権一次トーナメント代表決定戦のマッチレポートが**高校サッカードットコム**と**ジュニアサッカーweekly**のサッカーコラムに取り上げられました。子どもたちの試合での活躍がレポートされています。さすがプロですね。是非、ご覧下さい。



<タイムアップの笛は次へのキックオフ>